

## 第2回 神戸港カーボンニュートラルポート(CNP)検討会 議事概要

日時:令和3年2月26日(金)10:00~12:00

場所:近畿地方整備局 神戸合同庁舎6階 局議室(WEB 併用)

### ●議事

- ・第1回 神戸港 CNP 検討会の振り返り
- ・神戸港 CNP 検討会の進め方について
- ・次世代エネルギーの活用に向けて(案)
- ・具体的な取組の検討
- ・神戸港における CNP 形成に向けた方向性(たたき台)

### ●主なご意見

- カーボンニュートラルの場合再エネ電力を並行して利用することも大切。
- 陸電供給について内航船は受け入れる体制があるので、荷役時間の長い大型内航船が短期の施策としては望ましい。
- CGS の場合、冷熱だけではなく温熱の利用が事業化への課題。
- 陸電の電力使用料を抑えるためには契約内容の料金をシミュレーションすることが重要。
- 水素燃料荷役機械の社会実装には市街地需要も含めた供給対象の検討が必要。
- 脱炭素化によるコスト増を理解してもらうための広報活動が必要。
- 冷熱・温熱利用で発生場所と利用場所をマッチングさせるためには燃料電池による分散型発電も検討する必要がある。
- 外航船と内航船では航行時間と停泊時間の割合が大きく異なる。陸電対応とするか船舶 FC 化対応とするかは費用対効果の検討が重要。
- 短期の取り組みとしては、倉庫の屋根を利用した太陽光発電による電力供給や電気フォークリフトへの転換が考えられる。
- 荷役機械の脱炭素化は、荷役効率化と並行して考えないといけない。
- 冷蔵倉庫業は温度管理等に大量の電力を消費するため、エネルギーコストが経営に与える影響が甚大である。水素エネルギー導入に伴うコスト負担(初期投資・メンテナンス)等がまだ明確には見えないが、今後の具体的な進め方を示していただきたい。